

令和5年10月教育委員会定例会会議録

日時 令和5年10月24日(火)

9:55~11:30

場所 波佐見町役場 第4会議室

出席者：森田教育長、小柳委員、馬場委員
山下委員、松尾委員

事務局：朝長次長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 太田係長 欠席

2. 会議録署名委員氏名

小柳委員、山下委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

(9月定例会の会議録を確認。)

4. 報告事項

1) 教育委員会

9・10月事業報告、10・11月予定について

(別紙により朝長次長報告)

2) 給食センター

9・10月事業報告、10・11月予定について

(別紙により朝長次長報告)

※報告事項(追加・その他)

森田教育長

9月27日、地区別の教育長校長合同研修会が佐世保で行われました。いよいよ人事作業がここから始まっていくこととなります。

10月17日、中学校文化祭合唱コンクールがライブで行われましたが、どの学年もとても素晴らしかったですね。特に1年生が元気がありました。

3年生はレベルがとても高く、特に金賞を取った3年2組さんの合唱は、これはかなりというぐらい、とても素晴らしかったです。全体的にメリハリがあつて特に目立っていたかなあと感じました。子供たちも聞く態度も上手だし、歌う時は一生懸命歌うというような、この前の体育大会の様子がそのまま文化版になったという、とてもレベルが高い、質のいい催物が行われていたことをとても嬉しく、素晴らしいなあと感じています。

10月21日総合文化会館で、県内の近隣市町の図書ボランティア等の研修会が行われました。

10月から11月にかけて、各学校で秋の遠足が行われています。秋の遠足は、昔は歓迎遠足ということが多かったんですが、近頃は学習遠足になっていて、町内の様々な施設に出掛けて行ったり、そこで交流をしたりする

ような学習をメインとした遠足が行われています。歴文に行ったり、キャノンに行ったり、畑の原に行ったり、金山跡に行ったりとか、あるいは、図書館で交流してというような、学習をメインとした秋の遠足が、10月から11月に4校で行われるようになっていきます。

3ページの方にいきまして、10月30日、この前もこれについては以前にもお知らせしましたが、勤労福祉会館の働く婦人の家が、今年度末をもって廃館という形になっていきますので、最終的な運営委員会が開催されます。ただ、仕組み的なものは無くなりますが、あそこで行われた研修的なものは教育委員会の方で引き継ぐという形で、町民講座等々も引き継いだ形で行われるようになっていくだろうと思っています。

先ほど鴻ノ巣少年野球クラブが近隣学童野球大会で優勝したと報告がありました。今度は県代表で沖縄の方で、王貞治杯記念野球大会というのがある。各県1チーム出場しますが、長崎県代表で鴻ノ巣少年野球クラブが選ばれて、沖縄の方に行くようです。とても嬉しいニュースで11月18～19日と行かれます。

それと30日、教育委員会が新庁舎へ移転をする関係で、今の教育委員会事務局の場所をどのように運営をするかという協議を今から始めていきますが、今のところ私たちが管理委託先として想定をしているルピナスさんとの意見交換会を事前に行う予定にしています。

同日30日の夜に、スポーツ少年団の駅伝大会に向けての理事会を開催します。

11月6日の図書館会議のところで、波佐見町の読書ボランティアをされています「お話の部屋はてな」さんが、県の表彰を受けられるようになりました。受賞後に、簡単な活動紹介というのをその場で行っていただくようにしております。

7日に県の赤崎教育長と、各市町の教育長がオンラインで、不登校とか、学力向上とか、特別支援教育についての意見交換会をオンラインで行うようになっていきます。

18日土曜日食育フェスティバルが文化会館の大ホールで行われます。以前南小学校にお勤めだった福田泰三先生が来られて、講演が行われるようになっていきます。

27日、先ほどの中学校からの提案ですが、これは昨年度からやりたいと思っていましたが、中学校の方で形にいただきました。子供議会という形で、中学生が考える波佐見町の現状と課題をどうするかというところを、役場執行部と意見交換会をするという形で、やってみたいという提案があります。

情報提供です。中学校の英語の教員でA教諭が、今病気休職中で10月末復帰の予定でしたが、2月末まで延長されました。その代替として今中学校で特別支援教育支援員としてお勤めの馬場委員の娘さんが、英語のスキルがとても高いし、子供たちとの日頃の接し方も素晴らしいというところもあったので、県に臨時免許状の発行を依頼し、4か月間ではあります。英語の指導という形をお願いをしたいと思います。その場合、支

援員さんが空きますので公募をかけていて、今1名手が挙がっていますので、今後面接をしていきたいと思っています。以前、中学校の支援員をされていて、今育休で休まれていた方で、とても素晴らしい方なので、お話をしながら任用出来たら良いかなと思っていますところです。

以上付け加えたものを含めまして、ご意見とかご質問等がありましたらお願いします。はい、どうぞ。

小柳委員

10月1日に南小学校わくわくワークデイが開催されていますが、ちょっと私も行く予定にしていたのですが、急遽参加できず、当社も今年は参加出来ませんでした。そのことで、長崎ヴェルカの高比良キャプテンが見えられたと思いますが、子供たちの様子はどうだったのかなってということが一つ、それと10月27日に、鹿山雷神太鼓が県の地域文化章をいただき、いろいろ推薦をいただいてありがとうございます。長年の功績を認められての受賞ということでありがたいことだと思っています。受賞会が29日に宿の方であるようになっていきますので、一応報告をしておきます。以上2点、お願いします。

森田教育長

ヴェルカの高比良キャプテンについては、当初は予定されていませんでした。高比良さんが協和郷に住んでいるということで、二月ほど前に南小学校のミニバスケのコーチの方と親交があって、急遽そこに教えに来られたということでした。そう近々されている方ならどうだろうかと話されたら、是非子供たちと交流をしたい、自分で良ければ話をしたいと向こうからも希望があったということでしたので、20分ほどお話をさせていただきました。とても素晴らしいかったです。私たちが、是非子供たちに伝えていただきたい、あるいは保護者に伝えていただきたいようなことを、しっかり伝えていただきました。自分は才能は殆どないけれど、その才能を補うために、本当に1年365日近く、あるいは1日24時間あるけれど多分10数時間、自分はシュートの練習をやってきたとか、とても素晴らしい内容で分かりやすく、そして自分の体験を交えながら話をしてもらいました。子供たちは、とても感動したと思いますし、何よりも保護者が親の姿勢とか、親の見守り方とか、そういう子育てに関することも、彼自身も2人の子供さんがいらっしゃるということもあったと思います。保護者にもとても分かりやすく、とても良いお話をさせていただいたかなと思っています。大変いいプログラムが組まれたのではないかと私も高く評価をしています。折角ですから、南小だけではなく、他の小中学校にも是非行ってもらえればかなと思っています。ヴェルカが長崎県唯一のプロバスケットチームでもありますし、開幕戦に連勝して、今大変好調なチームですので、応援を一層やっていきたいかなと思っています。他に、ございませんでしょうか。どうぞ。

馬場委員

行事がいろいろありましたが、まず中学生1年生が中尾のウォークラリーをやっていました。地元の窯元さんが今年の1年生は本当に礼儀正しく

て、元気が良くてということで、今までないぐらい褒められていました。これがまず第一です。

今ありましたようにわくわくワークデー、それから中学校の文化発表会に参加させていただきましたが、どちらも保護者がとても多く、中学校の文化発表会には駐車場止められないぐらい、いっぱいになっていて関心の高さに凄いなと思いました。とにかく行事がこうたくさん再開して、非常にいい傾向だなと思いました。やっぱり南小のわくわくは良い企画で、あれは本当にずっと続けていってもらいたいと思っていて、6年間あると、いろんな職業を小学生のうちに体験できるということは非常に良いことだと思います。福岡では今キッザニアとか出来ていますが、ここら辺りでは無いから、やっぱりいい体験スペースになっていると感じさせてもらっています。これは本当に、波佐見町が発信できる企画ではないかと毎年感じさせてもらっています。以上です。

森田教育長

キッザニアを原点にしながら始められた取り組みではありますが、やっぱり企業体験とか、ふるさとキャリアということを考えて時、とてもユニークというか、特色ある素晴らしい活動だと思っています。それを中央小、東小でもという声は確かにありますが、それぞれに特色ある活動をされています。例えば東小さんはこの前の出店集会の時に山中浮立をやったりとか、あるいは以前から、東っ子支え隊という本当に地域の方々が、授業や教育活動に積極的に入っていて、この前もミシンを婦人会の方がサポートされていました。中央小学校も、サポーターの方が入っていただくというふうに、前向きに積極的に地域の方々のお力を借りて教育活動を展開されています。今後波佐見町として、是非広めていきたいし、深めていきたいということは強く思っていますので、それぞれの学校で工夫した取り組みがきちっと行われるということを期待しているところです。南小のわくわくをやりたいという声が学校から上がってくれば、サポートはしていきたいと思いますが、こちらからこうしたらとかは、学校の思いの部分もありますので、今のところは南小学校の独特の事業活動でよろしいのではないかなと思っています。このわくわくと中学校のやきもの体験プログラムは、これは全国的に見てもたぶんかなりユニークで特色のある活動だろうと思っていますので、今後いろいろな場面で発信をしていけたら良いかなということを思っているところです。他にご質問、ご意見はありますか。

山下委員

9月の中学校の体育大会のスローガン「青空に響け声援、夏より熱い私たち」の通り、子供たちが一生懸命に競技に打ち込む姿勢に、とても素晴らしく感動しました。応援合戦や、パネルも3ブロックの思いに合った、生き生きとした表現を拝見させていただくことが出来ました。今回は、久しぶりにPTA競技種目が復活して、保護者の方と学校が、少しずつでも近い存在になっていただければ良いなと思いました。ただ、10月14日にあったPTAの研修会の参加が少なかったということをお聞きして、その辺

りをPTAと何か連携が出来たら良いかなあと考えております。

森田教育長

おっしゃったように、中学校の体育大会は、ここ数年コロナの影響で無観客であったり、いろんな条件があった中での開催でした。今回、中学校の体育大会に対する保護者や地域の方々の要望に、一番多かったのが中学生の堂々とした行進を見たいということと、組み体操を復活してもらいたいということが一番多くありました。組み体操については、今は学習指導要領でもかなり厳しい規制を行っていますので、なかなか難しいところがありました。同時に三番目に、PTA会長さんの挨拶なり、PTAっていうところをもう少し前面に出せないのかという、これも時間との関係もありましたが、そこに、中学校としては一つ提案という形でプログラムに入れられました。

去年はよく練習しているのが見えていましたが、特に今年は雨が多く、練習の様子を私たちも事務局からあんまり見ていなかったのも、大丈夫かなって思っていました。蓋を開けてみたら、本当に素晴らしい体育大会でした。行進だったり、内容も取り組み方も、子供たちの表情とか、真剣さ、そしてきらめく笑顔の部分とかで、私も久々に中学校の体育大会で、これほどレベルが高い大会はあまり見たことが無いぐらいのものでした。加えて言いますと、9月9日の波佐見高校の体育祭もとても素晴らしかったです。これはもう、近年まれに見ると言ってもいいぐらいに、素晴らしい体育祭でした。その中で長崎PTA会長さんとずっと話をしていた時に、実際に波佐見中学校出身の生徒は3分の1で、後の3分の2は、川棚からいますが、ほぼ佐世保の生徒がメインです。でも長崎会長さんがおっしゃるには、波佐見高校に対して、波佐見町が町民みんな、応援をしよう、サポートしようとしていることは、波佐見町出身の子供たちだけではなく、波佐見高校に通っている生徒たちが実感しているのではないかと自分は感じると話されました。だから、感謝をしているし、それに対して何か応えていかなければというところの部分の必死さとか、ひたむきさとか、真面目さというのが、こういう場面にあるのではないかと、自分が会長として感じていますと話されました。まさしくそうだろうと思っているので、子供たちに対する支援というのは、大人が一生懸命発信をする、伝えていくことによって、子供たちにはしっかり感じ取ってくれていると思います。小学生も中学生も高校生も、大人の方々から私たちはしっかり守ってもらっている、支えていただいているということ、いっぱい発信していけば、子供たちは言わなくても、ちゃんと分かってくれているし、それを何とかお返しをしたいという気持ちを抱くんだということ、高校生や中学生を見ていて、本当に感じさせられたと思います。

他にございませんか。無ければ、次に進みます。はい。どうぞ。

松尾委員

10月12日木曜日の夜に、県の方から講師の方が来てくださって、中央小学校のメディア研修会が、参加者は20人ぐらいでしたがありました。大きく2つですが、一つはルールを決める。スマホ、タブレット、SNSに関

して、保護者の方々が困っているところはどこかっていうと、ルールを守れないところということでした。与えるときに何を注意したら良いのかということと、それを子供たちにどう浸透させたら良いのかというヒントをくださいってところが1部でした。

2部は、チャットGPTの話で、そこはアドバイザーさんも余り得意な分野ではなかったようですが、13歳未満は使わないってということがチャットGPTのルールになっているってことを参加者皆さん知りませんでした。やっぱり文章を作るという時に、私たち大人は便利だから、AIやチャットGPTに作文を作ってもらっていますが、それを子供たちにどうして使ってはいけないのかをどう説明するかということでした。結局、子供たちは作文力がないのに、その作文が正しいか正しくないのか、文法がおかしいのか、おかしくないのかということが分からない年代に使わせるべきではないということがアドバイザーさんのお話でした。

ルール作りのところは、40代ぐらいの男性の講師の方でしたが、自分も高校生中学生小学生と3人子供がいますということでしたが、小学生と高校生のルールは違うということをお子には認識させているということでした。高校生になったら許されることも幾つか出てくるということをお子たちには日々言っていて、一番下の小学生の息子さんは、お兄ちゃんだけずるいとかって言うらしいですが、そこは毅然として保護者がルールをきっちり決め、親も守るってところをしっかりと見せてくださいということでした。

分かりやすいルールの見本みたいなプリントを配ってもらいましたが、夜何時までに絶対終わる。部屋には持ち込まない。1日何時間、それこそ勉強をする時の時間を含めずに何時間。というところをちゃんと守るように書かせ、できれば貼る、リビングとか目につきやすいところに貼る。そして大事なところは、それをリニューアルすることということでした。1か月に1回、2か月に1回とルールを決めて、親子で話し合っ、厳しくなることもあるし、少し緩めることもあるという、リニューアルすることが大切ですということでした。皆さん、それが出来たら守れるところ、守れないところが見えてきて良いですねという感想でした。

中学生の保護者の方からの質問に、LINEでお友達に聞きながら、宿題をすることは良いのか悪いのかという質問がありました。聞いた親御さんも悩むところですよという感じでしたが、友達に聞いたら分かるので、分かる友達のライングループでビデオ通話をしながら、宿題をすることは良いのか悪いのかということでした。保護者には判断がつかないということでしたが、宿題をやっているから良いじゃないかと子供は言うけれど、本当に宿題のことだけをやっているのかどうかは保護者には分からないので、それを許していいのか分からない。ただ子供は宿題をしているから、スマホを見ていると言うということでした。中学校の親からだったので、講師の先生は、それで高校受験に向かって、学力が身につく学習方法なのかどうかを、子供さんとしっかり話し合ってくださいと言われてました。あと学習をしながら、三つ四つスマホの中のアプリを立ち上げている

子は75点点数が下がりますという例を出されていました。ライン、インスタ、ツイッターXを立ち上げて勉強している子供の平均点が下がるというグラフを見せられて、親御さんたちは痛感されたようでした。結局はスマホを使っての宿題はしない方が良いという話ではありました。

そのルールの決め方と、こんなふうにした方が良いでしょうと提示され、良ければ配りますと教頭先生と講師の先生が話をされていたので、とても良い例なので、配ってもらいました。1時間半ぐらいでしたが、濃い内容だったので良かったです。

小柳委員 それは、何の研修会でしたか。

松尾委員 中央小学校のPTAの研修会でした。

森田教育長 安全メディア研修会というものがあって、もう町でも何回かやっているし、各学校も、中学校でも毎年やっています。安全メディア講習員の方々が派遣をされていますが、今先ほど参加人数が20名、その前の町PTAの研修も、東小の教頭に聞いたら、60名弱だったということではありましたが、そこまでいたのかどうかは分かりませんが、全体的にPTAの会員さんたちの研修会への参加が減少しています。意識が低下をしているということは間違いないだろうとは思っています。以前は、動員を掛けるとかあったので、そういうこともされているとは思いますが、でも、もしかしたら余りにも行事が多過ぎて、もう保護者の方々も大変だということも、実際あるのかも知れません。たくさんあり過ぎて、ちょっと行けないという本音の声としてはあるのではないかと思います。だからPTAの方々の意識をどう変えていって、そしてそれをどう行動に結びつけていくのかということは、これから先の課題だと思っています。意識がどんどん低下をしているということもなかなか今難しい、もっと言えば、この話は絶対この人には聞いて欲しいという人がいますが、そういう方は研修会にはほぼ来られないという現実があります。この大命題をどう解決するかということが学校現場では頭を悩ませています。伝えたい保護者が来られない、どうすれば良いのか、もう良いでしょうという方ばかりが、来られている現状があるので、難しいなといったところです。

二つ目の部分は、確かにそういうメディアを使い過ぎている子供たちの学力はついていないというところも、大きな理由であるだろうと思います。ラインを横に置いてその子が自力解決をしていて、どうしても自分では分からないので、お友達に聞くっていうことはまだ良いと思いますが、何も考えずに友達に聞いて、そうねって言っている、多分そうなることが多いと思うので、学力が身につかない。辞典を使って言葉の意味を調べる作業をせずに、グーグルで検索してしまうと全く学力が身につかないことと、同じ答えなんだろうなと思います。だからこの課題、アナログとデジタルは上手にバランスをとらせないと、学力が身に付かないところを、学校現場では分かっているはずですが、なかなかそこが難しいところ

ろだと思えます。

やっぱりルールづくり、これはずっと言われていることですが、やっぱり購入する際のルールづくりと、今松尾委員さんが話されたように、ルールもリニューアルしていくというところがとても大事だと思います。私たちが学校に勤めている時、学級目標を前面に掲示しますが、あれが1年中変わらない学級とか、学期ごとに変わっていない学級とか、そこら辺は結構や詳しくチェックをしていました。目標は一年間じゃなく、それこそ週スパン、月スパンで、今度頑張りたいことは何だろうと自分たちで反省をして、成果と課題から新しい目標を立てていく、リニューアルしていくことが、レベルアップにつながるとも大事なこととなってきます。4月1日に立てた目標が3月31日まで変わらないっていうことはあり得ないことだという考え方にしていけないといけません。目標ってそういうものではないか、実現するための目標だから、実現するための段階があるし、小さな目標がまずあると思うから、その小さな目標をクリアしていくということがとても大事なところなので、絵にかいた餅になったら何にもならないと思っています。ルールも日々更新して、より良いものにしていくことは、多分そういうところの学びもあるのかなと、今お話を聞きながらとても良い話を聞いたと思います。是非中央小では今実践をされていますが、これを全校で共有できれば良いなど、今お聞きしながら思いました。

それでは、4の議題で就学援助について、今回1件ありますのでご提案ください。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長 はい。それでは今回の就学援助では、児童扶養手当の新規の方から1件申請があっています。

【資料によって説明】

森田教育長 はい、児童扶養手当の新規ということで今提案がありましたが、認定でよろしいでしょうか。

【委員、全員承認】

はい。持ち寄り議題は、後に延ばします。その他を先にお願ひします。

4. その他

1) 新教育委員辞令交付式について

2) 長崎県市町村教育委員会研究大会について

3) 波佐見町総合教育会議について

朝長次長

はい。11月6日の9時から、先ほども申しましたとおり富木さんの新教育委員としての辞令交付式を行いますので、ご出席をお願いいたします。

(2) ですが、長崎県市町村教育委員会研究大会について、6ページに資料をつけております。11月17日(金)10時から15時10分までの予定で佐世保のアルカスでございます。開会式があって、午前中に分科会が二つ設けられています。第1分科会、第2分科会、多分また出席をどちらに求められると思いますので、後でご報告願いたいと思います。昼食後に、全体記念講演会、質疑応答、分科会報告とかあって15時10分に終了ということでございます。この大会への出席と分科会の出席について、後だって、ご協議いただければと思います。

次に3番目でございますけれども、波佐見町の総合教育会議でございます。日程は町長が今空いている日を掲載しております。この日に合わせて決めていただければと思います。

【研究大会の分科会出席人選と、町総合教育会議の日程調整、教育委員会定例会の日程調整】

森田教育長

分科会は、第1分科会が教育長、松尾委員、あと渡邊指導主事か朝長教育次長、第2分科会が、馬場委員、山下委員、富木委員。

教育委員会の定例会が、20日(月)10時30分から、総合教育会議の日程が、29日(水)10時からたぶん役場の委員会室になると思います。よろしくをお願いします。

それでは、持ち寄り、意見交換という形で、15分ほど取りたいと思います。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

馬場委員

先週の木曜日に、社会教育の研究大会が、県庁の方で行われました。出席させてもらいましたが、社会教育は年に4回ほど会議を持っていますが、今この社会教育の方でも焦点になっているのは、やっぱり子供たちの環境、子育てについてが問題となっていて、いま私たちがやっている内容と殆ど変わりません。そういった状況を見た時、以前から思っていたのですが、教育委員会と社会教育委員さんとの合同会議をできれば次ぐらいに持ちたいなと思っています。今、コロナが終わっていろいろな活動が再開し、行われていますが、こういったいろいろな活動について、どうしたらもっと良い活動になって行くのではないかなど、そういった意見交換の場を社会教育と教育委員会で出来ないかなと思っています。しかし、教育委員会は昼間にできますが、社会教育の場合は昼間に会議が出来ません。仕

事が終わった後でしかできませんが、そういう方々と、今後の波佐見町の教育行政について、一度意見交換をする機会をぜひ設けていただきたいと思います。11月か12月に社会教育の会議がありますので、その時に出来ればと思っています。題材は教育に関してですから、いわゆる子供たちの教育、給食の無償化とか、支援の問題とか、そういった問題を絞って協議できればと思っています。一応提案をしたいですが、そういったものを交えて今度また総合教育会議もありますので、そういったところにも提言できるのではないかと考えています。先ほどPTAの問題も出ましたが、やはり我々とPTAとの接点がない訳ですよね、そういった中でPTAの中にも私たちも入り込んでいくことが必要だと思います。民生委員さんとも話をしていく機会、今接点が無いのでバラバラな状態だから、そういったものをできるだけ共有できるような話し合いの場を作っていくことが大切ではないかと考えています。

まずは、社会教育委員さんとの話し合いを、やって行きたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

森田教育長

まずは11月か12月の内に社会教育委員の会議があるので、そこにこちらから入っていくということがスムーズかもしれません。別に会議を設けるよりは、そちらの方が良いのかもしれませんが。一度、意見交換会というか、合同会議という形で催すということではよろしいですか。

【委員、了承】

はい、それではその方向でしたいと思います。まず社会教育委員の会議の日程等が決まってからご案内を差し上げるという形で、お願ひしたいと思います。

民生委員さんとの意見交換は3年に1度としていましたので、来年度が教育委員会と民生委員さんとの意見交換会になると思います。

馬場委員

先ほども問題があっていたように、PTAは自分たちだけで活動をしているので、無理なところが出てきてパンパンになって、いろいろなことが出来ていないと思っています。だからそういったところに、昔の体制とかやり方とか、参考になるような機会を作っていかなければと思っています。私たちも伝えていきたいし、そういったいろいろなグループの連携を取っていくことが大事かなと思っています。

森田教育長

町Pの総会には、私たち事務局は出ていますが、やっぱりPTA活動は、特にいままでされた皆様方とかOGOBとの意見交換はとても意味があることだと思います。特にコロナで活動が出来ず、役員が交代しても、何をすれば良いのか、分からない方も多いと思うので、そういう雰囲気的なものの意見交換はある意味必要なのかなと思っています。今年は東小学校さん、来年度は変わるとは思いますが、町Pとの連携という形の部分で

も、教育委員会としての関わり方ができればと思っています。はい、他ございませんか。

小柳委員 広報はさみを見ていまして、町の事業のところで学校図書システム再構築及び賃貸借ってというのが上がってまして、これが具体的にどういうことなのかなとよく分からないところあります。

朝長次長 そのシステムですけど、富士通が作った管理システムになっていますが、そのシステムをメインとして、5年間、6年間ですかね、再度のリース契約を行っています。図書館と学校は、そのシステムで本の貸し借りとか、管理とかを行っています。

小柳委員 富士通さんのシステムを利用されている訳ですね。

朝長次長 もし富士通からシステムが変わってしまえば、また管理システムも変わってしまうということで、富士通のシステムをメインとして、そこをリニューアルしていくようにしています。

森田教育長 もう全て今本の貸出しとかですね、学校でもやって、町もやって、そこに連携性だったり、そのリースが契約更新に来たということです。一応図書館、県立図書館との連携もできるので、その更新ということです。ちょうど今年度来年度ぐらいが、いろんなパソコン関係、デジタル関係の更新時期が今ちょうど来ています。はい、他ございませんか。

渡邊指導主事 先ほど資料をお配りしましたが、明日は東小学校の学校訪問になります。1ページ開いていただければ、実施計画がありますが、日程として13時40分からの授業になりますので、せめて10分前には学校の方に訪問をしたいと考えていますので、13時30分までには東小学校の方に来ていただきたいと思います。内容としては授業参観がお昼からの5時間目の時間帯になりますが、学校経営について5分間、本校の教育について20分間ありますが、こちらは校内研修の前準備段階の時間に充てられていると思います。授業者の指導として20分間行われます。下校指導が終わった後、校内研修が行われ、この校内研修が授業についての研究協議となっています。その研究協議を参観していただいた上で、3番の町教育委員会指導ということで15分ほどありますので、ここでいつものように授業の感想等を含めて、学校訪問全体的なご意見をお伺い出来たらと思っています。このような流れで明日は進めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。私の方からは以上です。

森田教育長 学校訪問について何かお尋ねがあればお願いします。他に持ち寄り、何かあればお願いします。

松尾委員

10月の報告に上がっているように、学級閉鎖が何件かあっています。コロナ、インフルエンザの流行で、中学校では学級閉鎖が2組って書いてありますが、そのあと1組もやりました。学級閉鎖が起きているんですが、今ちょっと空気が乾燥し始めて、数字としては、少しコロナ感染症が下がって、インフルエンザが増えて、波佐見よりも川棚が多いです。東彼三町しか把握していませんが、川棚と波佐見とで、どっちかが増えるとどっちかが減るという傾向があっています。今月に入ってから、コロナの方もいますし、インフルエンザの方もいます。インフルエンザは、今のところ9割以上がA型です。また毎年の傾向として、インフルエンザはA型が流行って、少し暖かくなった頃にB型が流行するというのが通年の流れだったので、Aが流行るって言うことは想定していますが、コロナの方もいます。小児科さんとかでは、アレナウイルスとかRSウイルスという検査をされる場所もありますが、大人の方はほとんど検査はしません。今熱で受診をする方で、インフルでもコロナでもないけど、40度ぐらいの熱の方もいます。医療機関などで受診に来た方には、どのくらい何が流行っているのか、町内で流行っている、あと佐世保の方まで通学している子どもに関しては、佐世保の方では何が流行っているかっていうことを、少し興味を持って情報を広く求めるようにしてくださいねという声掛けはしています。やっぱり感染予防が一番なので、その情報を見ようとか、気持ちを持っていくようにすると、感染予防に繋がっていきます。感染状況に合わせた感染予防を、声を掛けていただきたいと思います。

渡邊指導主事

それに関しては、コロナが5類になる前までは、県への報告が義務づけられていましたので、各学校にコロナ報告は毎日お願いをしていました。5類になってから県の報告もなくなり、各学校にも報告を依頼もしていませんので、今現在学校がコロナ感染、インフル感染がどのような状況になっているかということも、ちょっとこちらの方では把握していない状況です。ただ、学級閉鎖になった場合には県への報告が求められていますので、その時には各学校からの報告を求めています。今松尾委員さんが話されたように、町内でも各学校が爆発的になった時には、連絡はありますが、散發的な感染者が見られた場合には、どういう状況か把握出来ていないところがあります。そういう状況です。

松尾委員

コロナって言われましたと保護者が学校に連絡をしますよね。学校の中だけでは分かるということですよ。それが教育委員会の方には上がってくるわけですよ。

渡邊指導主事

学校の中だけでは分かりますが、教育委員会への報告は上がって来ないです。委員会の方は、もし学級閉鎖のような各学級で4人とか5人とか、集団感染が起きたような場合には連絡はしてもらっていますが、1人とか2人とかでは報告は今のところはありませんし、求めてもいません。

松尾委員

では、ここから先の詳しい感染先とかいう案内はできにくいですか。

渡邊指導主事　　そうですね、その判断は各学校判断にお任せをしています。5類になるまでは逐一報告があって連絡のやりとりをしていましたので、そういう経験をもとに、コロナ、インフルでもうマスクの着用が義務づけられてはいませんが、これだけ感染が広がっていますので、マスクの着用を推奨しますというような指導はされています。

松尾委員　　十分だと思います。それを言っていただけるだけでも十分だと思います。

森田教育長　　それは確実に伝えております。学校の方で周知はしていただいています。はい、他ございませんか。

無ければ、今日で小柳委員とは、お昼の会が終わりというところもあるので、ご挨拶を頂けれと思っております。

【小柳委員から挨拶】

森田教育長　　長い間、本当に産業界から、そして本当に大所高所いろんなところから、ご意見とか頂いて大変心強くもありましたし、いつもありがたいと思っておりました。

委員は終わられますが、いろんな面で私たち教育委員会の方にご指導賜ればということをお願いしております。また、よろしく願いいたします。お疲れさまでした。どうも、ありがとうございました。

これから、新庁舎の内覧をしたいと思っておりますので、ご移動のほど、よろしく願いいたします。

※次回定例会予定　　令和5年11月20日（月）10時30分から
波佐見町総合文化会館

令和5年10月24日教育委員会定例会会議録署名	
署名	小柳 吉喜
委員	山下 祐子